

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号32

千葉県立船橋古和釜高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

社会的・職業的「自立」に向けて志を持ち、その基盤となる力を身につけようと地道に努力する生徒。具体的には次のア～エに該当する生徒で、それを具備していることが確認できる者。

ア 中学校3年間の欠席・遅刻・早退が少なく、学習活動や部活動、生徒会活動に努力しており、今後も自立に向けてがんばる者

イ 強い規範意識と素直な心を持ち、自らの将来を見すえて、マナーや基礎学力を身につけようとがんばる者

ウ 本校に入学後、いずれかの部活動に加入して、3年間継続してがんばる者

エ 本校の周辺地域の文化活動・ボランティア活動等に参加するなど、将来にわたって地域社会を担っていこうとがんばる者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。	
(2) 調査書	全教科の評定の合計値を*算式1により求めた値で評価する。	
	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。	100点満点
(3) 面接	評価基準により数値化して評価する。	100点満点
(4) 志願理由書	志願理由を確認するとともに、面接の資料とする。	

\*算式1 … 県が「千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項」に定める算式1

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点合計により評価する。 各教科の得点に10点未満がある場合、慎重に審議する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準	合計 100点 満点
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を*算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、慎重に審議する。	
イ 出欠の記録	評価項目及び慎重に審議する項目とし、総合的な判定に活用する。	
ウ 行動の記録	評価項目及び慎重に審議する項目とし、総合的な判定に活用する。	
エ 特別活動の記録	評価項目とし、総合的な判定に活用する。	
オ 部活動等の記録	評価項目とし、総合的な判定に活用する。	
カ 資格取得の状況	評価項目とし、総合的な判定に活用する。	
キ ボランティア活動	評価項目とし、総合的な判定に活用する。	
ク 総合所見	慎重に審議する項目とし、総合的な判定に活用する。	

(3) 面接

個人面接を行う。面接の態度や応答内容などから、本校の期待する生徒像に基づき観点を定め、それぞれA～Eで評価する。（100点満点）
--

(4) 志願理由書

志願理由を確認するとともに、面接の資料とする。
-------------------------

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接検査の結果」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。次のア～ウの手順をふむ。

ア. 学力検査の得点合計，県で定めた算式1で算出した数値（評定合計値），調査書の評価項目の数値，面接の評価点を加えたものを総合点とし，順位をつける。

イ. A組，B組に分ける。

A組 … 選抜の基準を満たしている者。

（順位が予定人員の枠内にあり，特に問題のない者を選抜する。選抜されなかった者はB組にまわす。）

B組 … A組に該当しない者。

ウ. A組を選抜した後，残りの予定人員は，B組の上位から総合的に判断して選抜し，入学許可候補者を内定する。

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加え，提出されたことにより，不利益な取扱いをすることがないように十分に注意する。

## 5 その他

特になし。

平成24年度 後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号32

千葉県立船橋古和釜高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	全教科の評定の合計値を*算式1により求めた値で評価する。
	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 面接	評価基準により数値化して評価する。

\*算式1 … 県が「千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項」に定める算式1

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。 各教科得点に10点未満がある場合、慎重に審議する。

(2) 調査書

本校の教育を受けるに足る能力、適性があるかどうかという観点から総合的に評価する。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を*算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、慎重に審議する。
イ 出欠の記録	評価項目及び慎重に審議する項目とし、総合的な判定に活用する。
ウ 行動の記録	評価項目及び慎重に審議する項目とし、総合的な判定に活用する。
エ 特別活動の記録	評価項目とし、総合的な判定に活用する。
オ 部活動等の記録	評価項目とし、総合的な判定に活用する。
カ 資格取得の状況	評価項目とし、総合的な判定に活用する。
キ ボランティア活動	評価項目とし、総合的な判定に活用する。
ク 総合所見	慎重に審議する項目とし、総合的な判定に活用する。

(3) 面接

個人面接を行う。本校の教育を受けるに足る能力、適性があるかどうか観点を定め、それぞれA～Eで評価する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、特に問題がなくA組と認められる者を選抜し、入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、算式2 [Y (学力検査の5教科の得点合計) + K (=1) × Z (県で定めた算式1で求めた数値)] の数値及び調査書、面接検査の結果を資料として総合的に判断して選抜し、入学許可候補者とする。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に注意する。

4 その他

特になし。